

自己評価報告書

平成 23 年 5 月 10 日現在

機関番号： 14301
 研究種目： 基盤研究 (B)
 研究期間： 2008～2012
 課題番号： 20320010
 研究課題名 (和文) 南インド現存二学派の収集諸写本に基づくヴェーダ新資料の校訂と研究
 研究課題名 (英文) Editing and Studies of Jaiminiya and Vadhula Vedic Texts by Using All the Acquired Manuscripts
 研究代表者
 藤井 正人 (FUJII MASATO)
 京都大学・人文科学研究所・教授
 研究者番号： 50183926

研究分野： インド学

科研費の分科・細目： 哲学・印度哲学・仏教学

キーワード： ヴェーダ、サンスクリット、インド、ケーララ州、ジャイミニヤ派、ヴァードゥーラ派、写本、校訂

1. 研究計画の概要

本研究の目的は、藤井正人、アスコ・バルボラ、井狩彌介の三人がインドでの現地調査でこれまでに入手してきた、ジャイミニヤ派サーマ・ヴェーダおよびヴァードゥーラ派ヤジュル・ヴェーダに属する多数の写本を中心資料として、三人を含む国内外の専門研究者が分担・協力して、未知ないし未出版のテキスト、不完全な版しかないテキスト等を校訂し研究することによって、ヴェーダの新しい資料とそれに関する知見を遅滞なく学界に提供することである。近年、ヴェーダ学の分野においてもインドでの現地調査が本格的に行なわれるようになり、各地のヴェーダ諸学派の伝承の実態が解明されるようになった。それとともに、これまで知られていなかった文献、あるいは、知られていた文献の別系統のものなどが確認されることになった。それらの中で特に重要なものは、オリッサ州のパイッパラーダ派アタルヴァ・ヴェーダ、ケーララ州とタミルナードゥ州の二系統のジャイミニヤ派サーマ・ヴェーダ、ケーララ州のヴァードゥーラ派ヤジュル・ヴェーダ、の三つの学派の文献伝承である。本研究は、これら三者の中から、伝承地域が重なり、さまざまな面で共通点や関連性があるジャイミニヤ派およびヴァードゥーラ派の新資料の研究を連繫して行なおうとするものである。

2. 研究の進捗状況

ジャイミニヤ派文献に関しては、サンヒターを藤井 (研究代表者) とバルボラ (研究協力者) が、ブラーフマナとウパニシャッドを藤井が、シュラウタとグリヒヤの両スートラ

をバルボラが担当して校訂と研究を進めている。ヴァードゥーラ派文献に関しては、井狩 (連携研究者) が校訂しつつあるシュラウタ・スートラを井狩、藤井、梶原三恵子 (連携研究者)、手嶋英貴 (連携研究者) が共同で、グリヒヤ・スートラを梶原が、それぞれ担当して研究を進めている。写本が欠如あるいは不足している文献に関する写本調査と、写本を含めた学派伝承の調査のために、藤井、梶原、手嶋がケーララ州の両学派の伝承地における伝承家系と写本の調査を継続して行なっている。これまでの調査で、あらたな写本を入手するとともに、ナンブーディリと称されるケーララ州土着バラモン社会組織とヴェーダ伝承との関係について、多くの新知見を得ている。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

両学派文献の校訂研究と、それに連繫した写本とヴェーダ伝承に関する現地調査がほぼ計画どおりに進んでいる。

4. 今後の研究の推進方策

引き続き、ジャイミニヤ派とヴァードゥーラ派の文献を、研究代表者、連繫研究者、研究協力者が分担して校訂と研究を行なうとともに、両学派の写本と伝承家系の調査を続行し、南インド (特にケーララ州) のヴェーダ文献伝承の実態を研究する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計5件)

- ① 藤井正人, “The Gayatra-Saman: Chanting Innovations in the Samavedic Brahmanas and Upanisad,” *ZINBUN. Annals of the Institute for Research in Humanities*, No. 42, pp. 1-37, 2011, 査読有
<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/139387/>
- ② 梶原三恵子, “The “grhya” Formulas in Paippalada-Samhita 20,” *ZINBUN. Annals of the Institute for Research in Humanities*, No. 42, pp. 39-62, 2011, 査読有
<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/139386/>
- ③ 藤井正人, “The Recovery of the Body after Death: A Prehistory of the Devayana and Pitryana,” *Studia Orientalia*, Vol. 110, pp. 103-120, 2011, 査読有
- ④ 梶原三恵子, “On the Grhyasutra of the Vadhula School,” *Journal of Indological Studies*, No. 20 & 21, pp. 25-42, 2009, 査読有
- ⑤ 手嶋英貴, “Chariot Drive in the Asvamedha,” 『印度学仏教学研究』, 57-3, pp. 1-8, 2009, 査読有

〔学会発表〕(計7件)

- ① 藤井正人, “The Kena-Upanisad and its succeeding portions in the Jaiminiya-Upanisad-Brahmana,” 14th World Sanskrit Conference, 2009年9月4日, 京都大学.
- ② 梶原三恵子, “On the Vadhula-Grhyasutra,” 14th World Sanskrit Conference, 2009年9月4日, 京都大学
- ③ 手嶋英貴, “Characteristics of the Asvamedha described in the Vadhula-Srauta-Sutra,” 14th World Sanskrit Conference, 2009年9月4日, 京都大学
- ④ 井狩彌介, “Aspects of Agnicayana ritual of Vadhula Srautasutra,” 14th World Sanskrit Conference, 2009年9月4日, 京都大学

- ⑤ 手嶋英貴, 「アシュヴァメーダにおける『夜間祭事』の歴史の変遷」、インド思想史学会、2008年12月20日、京大会館
- ⑥ 藤井正人, 「ヴェーダ期インドにおける王権と司祭権」、東方学会、2008年11月8日、京大会館
- ⑦ 手嶋英貴, 「古代インド王権祭式における共通要素—ヴァーージャペーヤ、ラージャスーヤ、アシュヴァメーダの比較から—」日本印度学仏教学会、2008年9月4日、愛知学院大学

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕